

報道関係者 各位

東北関東大震災に対するエルピーガス協会の対応

平成23年3月15日
(社)エルピーガス協会

- ・ 3月11日地震発生直後の15時、会長を本部長とする「災害対策中央本部」を設置。
- ・ 被災を受けた県協会などの会員から被災状況を確認。ただし、被害の大きい地域には連絡も取れず、現地にも行けず実態の把握が困難な状態。
- ・ 被災県協会では、避難解除などにより帰宅した際のガスメーターの適切な復帰作業などの広報を積極的に実施。
- ・ 今後は被災地の状況に応じて、LPガス供給などできる限りの支援をしていく方針。

1、対策本部の設置

協会では地震発生直後の3月11日15時に、会長を本部長とする「災害対策中央本部」を設置した。対策本部は正副会長、常任理事、専務・常務理事をメンバーに構成されている。

2、会員の安否確認

最初に会員の安否確認をおこない、14日東北地方の県協会(職員)は無事を確認。ただし、販売事業者はじめ一部の方々は被災された模様で、安否が確認できない方もいる。

3、事故関係

地震が起きた11日、協会は直ちに地震による事故情報を収集。調査の結果、埋設管破損や容器転倒によるガス漏れが生じたが、適切に処置を行い大事故に至って

いない。

ただし、津波等の被害が大きいところは、現場に行くことができず、連絡も取れないため実態がつかめていない状況である。販売事業者、充てん所、LPガススタンド等が大きな影響を受けている。

また、各被災地においてガソリンが不足しているため、保安点検や情報収集ができない状況が続いている。

<充てん所等の被害状況> (15日現在)

青森県	LPガススタンド1か所が津波被害
岩手県	充てん所7か所が津波被害、1か所が設備不具合 LPガススタンド2か所が津波被害、2か所が連絡とれず
宮城県	充てん所5か所が津波被害、1か所が設備不具合
福島県	充てん所1か所が津波被害、7か所が原発による強制退避 LPガススタンド11か所で連絡取れず
茨城県	LPガススタンド1か所で連絡取れず、1か所で設備不具合

4、被災地域消費者への保安啓蒙

被災県協会では、避難解除などにより避難所から帰宅した際のマイコンメーターの適切な復帰作業などについて、テレビ・ラジオ等を通じた広報を積極的に実施。特に、全てのガス器具などの栓を閉めた上でメーターの復帰操作をすることを徹底。

5、被災地への支援

今後、当協会としても被災地の方々に対し、LPガス等の提供など積極的に支援していく方針。

本件に対するお問い合わせ
(社)エルピーガス協会
03-3593-3500